

CW 単語帳		
CQ		"CQ" 単体は誰でも Call Back してよい一斉呼び出しだが、"CQ DX"、"CQ EU" のように後ろに文字をつけることで相手を限定したり、"CQ TEST" とコンテスト参加局を呼び出すのにも用いられる。近年は "CQ POTA" や "CQ SOTA" などがよく聞かれ、また A1CLUB では "CQ A1C OAM" や、"CQ A1NET"、"CQ AWT" 等が有名である。
DE	THIS IS, FROM	通常は送出電文の前後に "JE1TRV DE JJ1FXF" とされるが、"DE JJ1FXF" とだけ打つ方も多い。この用途以外には使われない。
TU	Thank You	コンテスト中などは "T" と "U" がつながって、"X" に聞こえる局も多いが、感謝の気持ちを込めていることには代わりがない。hi
TNX, TKS	Thanks	"FER" (FOR) との組み合わせで、"TNX FER UR CALL" や "TKS FER FB QSO" といった使われ方をする。
FB	Fine Business	GUD (Good)、NICE 等が使われることも多い。
GM, GA, GE (GB, GN)		相手の時間に合わせて送るのが流儀。日本が朝でも、米国局には "GA" を送る。わからない時は、日本の時間帯以外のものを2つ送る。日本が朝なら、"GA GE" ってな感じ。hi 日本を含めアジア圏では "GB" (Good Bye) や "GN" (Good Night) が聞かれるが、ネイティブからは打たれたことがない。
R, OK, QSL, CFM, SOLID CPI		了解しました、コピーできましたの意味。気分で使い分ける。"VIA" が続かない "QSL" は、概ね「了解」の意味。"CFM" は COMFORM (一致している)、"CPI" は COPY の略。
UR	Your or Your Are	Your なのか You Are なのかは、文章によって変わる。"Your RST (IS) 599"、"You Are RST599"
I		"I am 62 years old"、"I have been HAM since 1975" のような文章の、自分を表す主語 "I" は省略されることが多く、"AM 62YO"、"BEEN HAM SINCE 75" と打たれる。
MY	MY	「わたしの」の意味。多少短くなるので "MI" と打つ方もいる。
HR	HERE	「こちらの」といったニュアンス。"HR QTH" (こちらの QTH)、"HR OP" (こちらの OP) など。稀に、HEAR (聞く) の代わりに "HR" を打たれることもあるので、若干の注意が必要である。
DR	DEAR	名前の前に付ける丁寧表現。少々古めかしい表現なので、ネイティブはあまり使わなくなったが、アジア圏ではよく聞かれる。
OM	Old Man	"DR OM" とか "DR HIRO OM" とかいった感じで使われる。"OT" Old Timer もたまに聞かれる。女性は "YL" だが、"DR YL" とか "DR MISA YL" といった表現は聞いたことがない。
SAN	さん	近年は、"DR" や "OM" を用いず、ただ単に "〇〇 SAN" (さん) とだけ打たれる方が増えたように思う。DX も、普通に "HIRO SAN" と打ってくる。
IS	IS	はぶかれることが多い。(例："MY NAME IS HIRO" → "MY NAME HIRO")

ES	AND	アメリカン・モールス（鉄道モールス）にて用いられるアンパサンド（&）を英語の and として継承。ネイティブは普通に "AND" を打ってくることも多い。
FER	FOR	短くするために "O" の代わりに "E" を使っている。ネイティブは普通に "FOR" を打ってくることも多い。
SO	SO	英語の So と同じつなぎの単語。"SO HW?"（で、どう？）のように使われる。例) "GO OUT SN SO NW 73"（出かけるので、73を送ります） "SO" を2つ並べて "SO SO" (so-so) は「まあまあ」といった意味合いでつかわれるが、英語圏での so-so は自身の経験を元とする「まあまあ」なので、例えば「（自分が食べた感じでは）料理はまあまあだったかなあ（ややネガティブ感がある）」みたいに使われるので、"CONDX IS SO SO" は多少本来のニュアンスから外れる気はするが、ネイティブにも通じているので、ヨシとする。（他の「まあまあ」は文字数が多く使いにくい）
BUT	BUT	英語の BUT と同じ。SO が前の文章を肯定的に受けて文章を続けるのに対し、BUT は前の文書を否定したニュアンスの文章が続く。例) "GO OUT SN BUT FEEL HASSLE"
VY	VERY	「とても」といった、より上位な感じを表現する。更にとっても良い感じを出すのに、"SUPER" なんてのも使ったりする。
SRI	SORRY	「ごめん」の意味。"SRI FER" や "SRI BUT" の組み合わせで使われるが、FER や BUT がなくても判るので問題ない。
HI	笑	サンタの笑い声 "HO HO"（ホウホウ）をアメリカン・モールスで打つと、現モールス符号の "HI" に相当する音だった為と言われている。"HI HI" と2回繰り返したり、"H E E" とやや間隔を空けた "E" で代用したりする。
K	どうぞ	相手が定まってない時（CQの後など）の「どうぞ」。NET等で、「どうぞ割り込んでください」というニュアンスで使うこともある。
BK	BREAK	古くは QSO への割り込みをお願いする意味合いであったが、近年は「一瞬返します」的なニュアンスで使われ始め、今ではほぼ "K" と同じ扱いに感じる。国内のみならず、海外の方にも普通に通用する。Prosign ではないので、"[BK]" と続けて打つのではなく、通常の文字間隔を空けた "B" と "K" である。
GA	Go Ahead	「次どうぞ」、といった意味。Good Afternoon と同じだが、文意で考える。
BTU	Back To You	「おかえしします」といった意味。"BTU HIRO SAN" とも使われる。
[BT]	Break Text	文章の区切り、ピリオドと同等。次の文章が浮かばない時など、"[BT]" を複数回打って時間稼ぎをする。
[KN]	どうぞ	相手が定まっているので、割り込み不可の意味合いを込めた「どうぞ」

[AR]	電文終了	コールサインのラストレターが "K" の方は、CQ の終わりの "K" 「どうぞ」 の代わりに "[AR]" を打たれることが多いように思う。自局の送出電文がすべて終わり、「相手のコールサイン DE 自局のコールサイン」を打つ前に、"[AR]" で電文終了を示される方も多い。
[HH]	訂正符号	単点 8 つを打つのが煩雑なので、間隔を空けた短点 3～4 つを打ち、前の単語から打ち直しという形式で訂正される方が多い。
/	スラッシュ	移動局："/エリア番号"、"/P" (Potable)、"/M" (Mobile)、"/MM" (Maritime Mobile)、/QRP (5W 以下)、"5NN/HIRO" (コンテストのエクステンジのセパレータで使う方もたまにいる)
.	ピリオド	文章の終わり "[BT]" の代わりに、"." を使うネイティブは多い。"QSY to 7.025" の際は、"QSY to 7R025" と打つ方も多い。(抵抗器の記述から来た表現)
,	カンマ	英語圏ではカンマの有無で意味合いが変わる文章が多いが、電信では省略されることも多く、良きに計らえ的な感じである。"[BT]" や "." の代わりに使われる方もおり、正直ややこしく感じる人が多いのがカンマだ。
?	クエスチョン・マーク	多くは、シンプルに "UR NAME?" とか、"UR QTH?" とかいった使い方。この時、"BK" ですぐに返されることが多いので、注意が必要。 また、電文を重複して打つ場合のセパレータ (わかったかい? 的なニュアンス) とする方もいる。"SKCC NR 22608 ? 22608"
RST	Readability Strength Tone	ノイズの強さなどの場合は、単に "S5" とすることも多い。"HR OTH NOISE IS S5" 油断していると、RSN (Reaedability, Strength, Noise) を送ってくる局も散見される。また、併せて QRK 1～5 を送ってくる局もいる。
599, 5NN		"559", "449", "339", "229" 等も、よく聞く。
LOUD		"UR 599 LOUD" と共に "5NN FB" も良く聞かれる。
QSB		シグナルレポート共に "RST 599 QSB" と使われる。"QSB" の前に、丁寧に "WITH" や "WITH SOME" (ちょこっと), "WITH DEEP" (深めの), "WITH RAPID" (速い) といった表現を付ける方も多い。
QRM		QRM は、人工的なノイズや、混信といった類の雑音
QRN		QRN は、空電など自然現象によるノイズ。ローバンドで聞かれる OTH (Over The Horizon) Radar Noise は、QRM とする方と、QRN とする方がおり、少々分かり難いが、多くは "OTH QRM" 等と打ってくれる。
HW?	HOW?	電文の最後であれば、「コピーできましたか?」といったニュアンス。? を省いて "HW" としたり、逆に "?" だけの方も稀にいる。バリエーションとしては、"OK?" や "QSL?" などもある。
QTH, JCC	常置場所 / 設置場所	"QTH (IS) JCC 1230" といった使われ方が国内では多く聞かれるが、皆が皆 HAMLOG を使っているわけではないので、JCC ナンバーのみならず、ローマ字読みで市区町村名も同時に送るのが好ましい。"HR QTH JCC 1230 / YACHIMATA CITY" (間をスラッシュで区切る方が多い) もちろん、DX 局には通用しない。

NAME	名前	名前、昔のフォーンでは "QRA は杉坂です" 等と言ったが、近年は使われなくなった。カムバック・ハムは、ご注意を。
OP	Operator、オペレータ 稀に Operation、Operate の略字にもなる。	"MY QTH" とした場合は "HR OP"、"HR QTH" としたら "MY NAME" とするのが気持ちいい。 "MY QTH IS YACHIMATA CITY ES HR OP IS HIRO" "HR QTH IS JCC 1230 ES MY NAME IS HIRO" "HR QTH JCC 1230 ES OP HIRO" ("HR" は QTH と OP の両方に係る) ※ 一方で、相手局と同じ表現をすることが、電文の伝達をスムーズにするコツでもある。
WX	Weather	お天気のこと。"WX (IS) FINE" といった文型になるが、天気を表す箇所には、形容詞が使われることが多いので、雨は "RAIN" ではなく "RAINY" となる。 FINE、SUNNY、CLOUDY、OVERCAST、RAINY、CLOUDY、SNOW 等が使われる。
TEMP	Temperature	気温のこと。米国や "F" (華氏) だが VK (オーストラリア) などは、日本同様 "C" (摂氏) で送る。相手の国に合わせて選択するのが流儀。
RIG		国内では "RIG IS FTDX101MP" と無線機を紹介することが多く、現在の出力を "RNG" や "RUNNING"、"PWR" で出力を追記するが、海外では "RIG 500W" といった表現が多く聞かれる。
PWR	POWER	"PWR 100 WATTS 1TT W" と、数字を省略するカット・ナンバー (Cut Number) を使うケースが多い。 カット・ナンバーは、"T" のゼロと "N" の 9 が一番良く使われるが、コンテストになると、"A" で 1 を表したり、"5NN" を "ENN" と打ってきたりと、臨機応変な対応が必要となる。hi

ANT	ANTENNA	<p>"RIG 100W INTO DP" とする方もいる。国内では、続けて "UP 10mH" とアンテナの高さを打つ方が多いが、DX ではあまり聞かれない。</p> <p>DP, DIPOLE (ダイポール) INV, INV VEE (逆 V ダイポール) GP (グラウンドプレーン) VERT, VERTICAL (バーチカルアンテナ) WHIP, MOBILE WHIP (ホイップ・アンテナ) LW, LONG WIRE (ロング・ワイヤー) EF, EFED, EFHW (エンドフェッド系) ☒ ZEPP (ツェップ系) G5RV (はしごフィーダを使うマルチバンドアンテナ) OCFD (Off-Center-Fed Dipole) LOOP (ループ系) QUAD (クワッド・アンテナ) HB9CV (HB9CV さんが発明した、位相給電型ビーム) YAGI (宇田さん、八木さんが発明したアンテナ、"3EL YAGI" とエレメント数が付記される)</p>
TNX FER FB QSO		<p>"TNX FER FB 1ST QSO" 等と、1st や 2nd, 3rd と QSO 回数を送ってきたり、"2 BAND QSO" と 2 バンド目であることを送ってきたりと、応用が多い。</p>
MY QSL VIA BURO		<p>BURO の代わりに、国内だと JARL と送ってくる方も多い。JARL に加入されていない方は、"SRI NO QSL" と打ってくるので、"OK NO QSL" と返してあげたい。"VIA EQSL" (eQSL.cc) や "VIA HQSL" (ハムログ) もよく聞かれ、"OK EQSL" や "SRI NO HQSL" を返してあげたい。</p> <p>郵送で QSL カードを送るのは、DIRECT と称されるが、住所の確認を電信で行うのは少々ハードルが高いため、"DIRECT OK. PSE EMAIL ME LATER" と一旦 QSO を終わらせ、住所のやり取り等はメールを使うのが確実である。</p>
HPE CU AGN		<p>"CU SN" (CU SOON) や、単に "CU" (じゃあね! といったニュアンス) も良く聞かれる。丁寧な方は、"LOOK FWD TO NEXT QSO" なんて送ってくる方もいる。</p>
73 e e		<p>パターンとして、"TU 73 e e" も多い。最後の "e e" は、単点を少々リズムを変えて (間を空けて) 打つものであり、別れを惜しむニュアンスを出すものだが、DX 等はあまり間を開けない "EE" といった義務的な感じのバイバイを打ってくることが多いが、その QSO を嫌っていたわけではない。hi</p>